

対応ソフト

入稿データは基本的にAdobe Illustrator データでの受付となります。

それ以外のアプリケーションには対応しておりませんのでご了承ください。

こちらでデータの調整等が必要となる場合には、別途料金をいただく場合がございます。

制作について

透明・ぼかし・グラデーションメッシュなどは、印刷時に正しく出力されない可能性があります。このような効果はIllustrator上ではなく、Photoshop等で画像として作り、Illustratorに配置して作成してください。新機能を使用されている場合の出力の保証は致しかねます。

写真画像の配置は「CMYK、350dpi以上」のものを配置して下さい。350dpiを下回る解像度で配置された場合、写真の画質などが劣化する場合がございます。その場合、弊社では一切責任はお持ちできませんのでご了承下さい。

データ入稿の注意点

入稿データはAdobe Illustrator CS4 以下でお願いします。

不要なオブジェクト（孤立点など）の削除を確認して下さい。

保存形式はeps でお願いします。

入稿の際に出力見本を添付ください。折りの加工が入る場合は折り見本も必要となります。

入稿方法について

ひつようなもの

- ・ CD、DVDなどいずれかのメディア
- ・ 出力見本=最終データの出力紙

②メールでの入稿

ひつようなもの

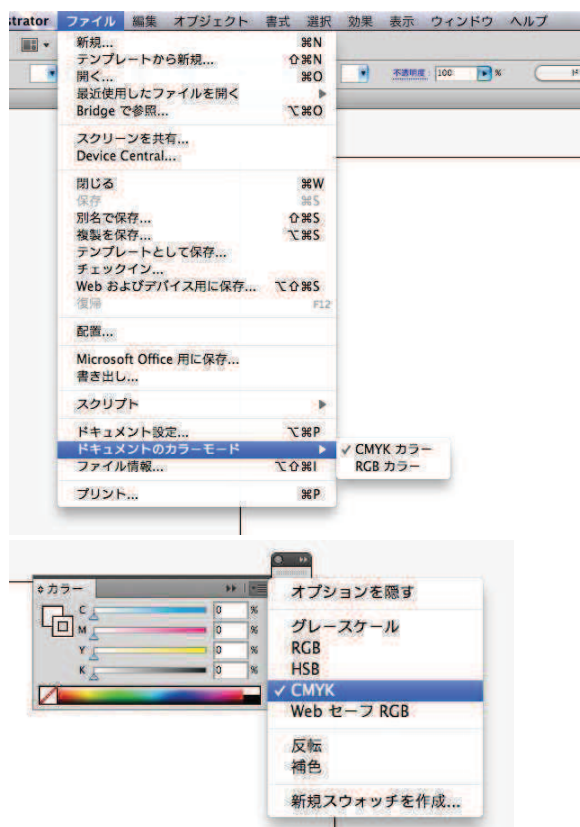
- ・ 広告データ
- ・ 出力見本=FAXで送信頂くか、PDFで入稿データと一緒に送信
(10M以上のデータの場合はファイル転送サービスをご利用頂くか、直接メディアでの入稿をお願いします。)

カラーモードについて

カラーモードは必ずCMYKカラーで制作してください。

「ファイル」メニューから
「書類にカラーモード」で確認できます。
(画面はIllustrator CS4)

Photoshopでデータを作成する際にも
同様にCMYKモードで作成してください。



「塗り」や「線」などの色指定も
「CMYK」で行ってください。

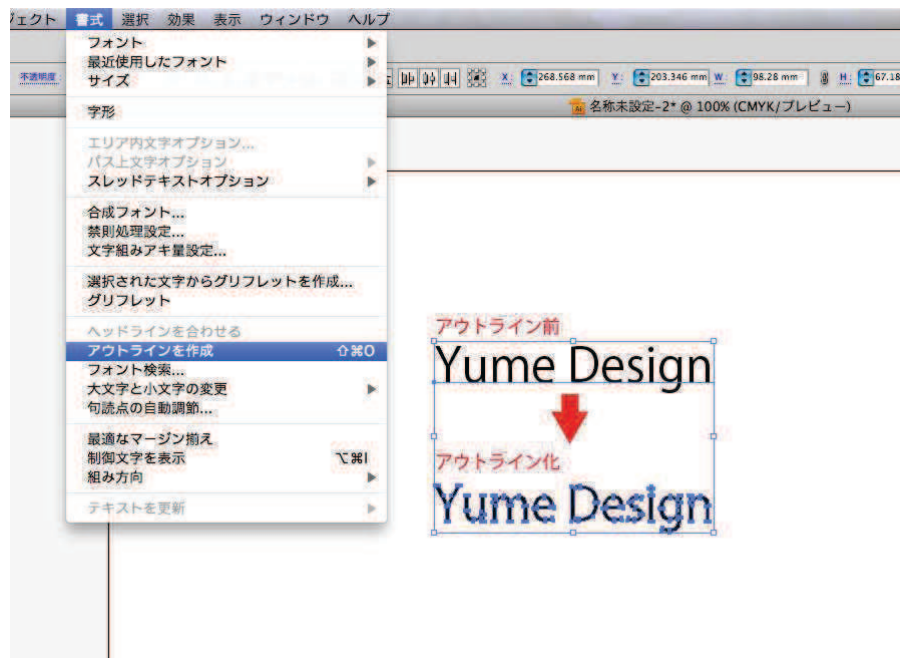
**RGBモードで作成したデータですと、実際に印刷される色と異なってしまいますので
ご注意ください。**

RGBはCMYKに比べ、色の表現できる色の範囲が広がっています。

そのため、RGBで表現できる原色に近い鮮やかな色が、CMYKでは表現できないことがあります。

文字のアウトライン化について

文字部分のデータは入稿時に全てアウトライン化してください。



必ず全ての文字がアウトライン済みになっているか確認を行なってください。
レイヤーやオブジェクトにロックがかかっている場合は、ロックを解除して、
アウトライン化を行なってください。

トンボ作成について

仕上がりサイズのトンボ(トリムマーク)を作成して下さい。 テンプレートをご利用の場合はこの作業は不要です。 トンボ(トリムマーク)の作成方法は、仕上がりサイズの長方形を作成し、その長方形を選択したままフィルタメニューの「クリエイト」から「トリムマーク」で作成できます。 トリムマーク作成後は最初に作った長方形はガイドにするか、削除して下さい。



画像の配置方法について

Illustrator 上に写真等の画像データを配置する場合は、基本的に「埋め込み配置」をお願いします。

入稿前には必ず画像が埋め込みになっていることを確認して下さい。



塗り足しと仕上がりサイズについて

仕上がりサイズよりも3mmの塗り足しをつけてください。また、デザイン要素は最低でも仕上がりサイズより3mm程度、内側に配置してください。

(意図的にデザインされたものは除く)

塗り足しがされていない場合、断裁した際に白い余白ができてしまったり、ぎりぎりに配置されている文字等は切れてしまう可能性があります。

